

「大島特別支援学校の八月踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島県立大島特別支援学校
2. 学年・人数	高等部1～3年・44名
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年10月2日（水）・大島特別支援学校グラウンド (2) 発表の日時 令和6年10月5日（土）・大島特別支援学校グラウンド
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 八月踊り（はちがつおどり）…芦徳集落（あしとくしゅうらく） (2) 由来 それぞれの集落で旧暦8月に稲の収穫を祝って踊られる踊り。 (3) 構成等 チヂンや三味線に合わせて男女が掛け合いながら歌い、輪になって踊る。鳩笛や合いの手を入れみんなで盛り上がる。歌詞は奄美の古い方言である。地域ごとに少しずつメロディーや歌詞・踊りが違う。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	・学校と地域が連携して八月踊りを継承していくために、運動会で毎年実施している。地域の方々から教員が踊り歌を学び、生徒に指導している。運動会前には、地域の方々と一緒に練習し本番を迎えた。練習の際に手の招き方や楽器の演奏について地域の方々からご指導いただいた。 ・今年度は県音研にも参加し、地域の方々と一緒に島唄を演奏したり歌ったりした。地域の方々の提案で県音研とのつながりを大切にし、運動会でも楽器の演奏を取り入れた。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	・「餅むれい踊り」、「大熊と浦上」、「六調」の三曲を踊った。 ・奄美の八月踊りについてワークシートを記入しながら学習した。 ・踊りの練習は、9月から体育の時間に行った。男女の動きの違いに注目して練習に取り組んだ。 ・今年度は昨年度と違う曲を踊ったが、動画や手本を見ながら、踊りを覚えることができた。 ・運動会で踊った踊りのうち、「餅むれい踊り」と「六調」は、県音研でも発表した。
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	・近隣地域（芦徳集落）の方々が運動会の八月踊りに練習から参加していたのは素晴らしい伝統だと感じました。この地域とのつながりを大事にしていきたいです。（教員） ・地域の方々と一緒に三味線やチヂンを演奏したことが楽しかったです。（生徒）